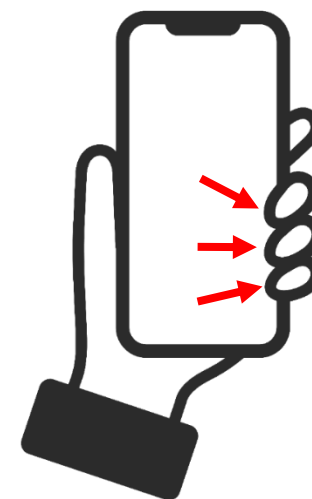


タッチ操作の種類 「押す」と「なぞる」を覚えたらスマホは使えます！

タップ 【軽く押す】 	長押し 【数秒押し続ける】 	スワイプ 【画面に触れながら指をスライドする】 
決定や選択等、基本となる操作。ちゃんと短く押す。ダブルタップはトントンと短い間隔で連続して触れる操作。	文字をコピーする時等に使用。メインの操作とは別の機能呼び出す時に利用する。PCでいうと、右クリックに近い動作。	ロックの解除や、表示画面を上下左右に動かす時等に使用する。
ピンチ 【指を広げる・つまむ】 	ドラッグ 【長押ししてからそのまま指を動かす】 	
拡大（ピンチアウト）・縮小（ピンチイン）を行う動作。写真データの閲覧や地図等で利用する。	ホーム画面のアプリの移動等で使用する。パソコンのドラッグ&ドロップに近い動作。	



POINT

①画面は静電気
反応するため、ボ
タンのように押し
込む必要はなし！

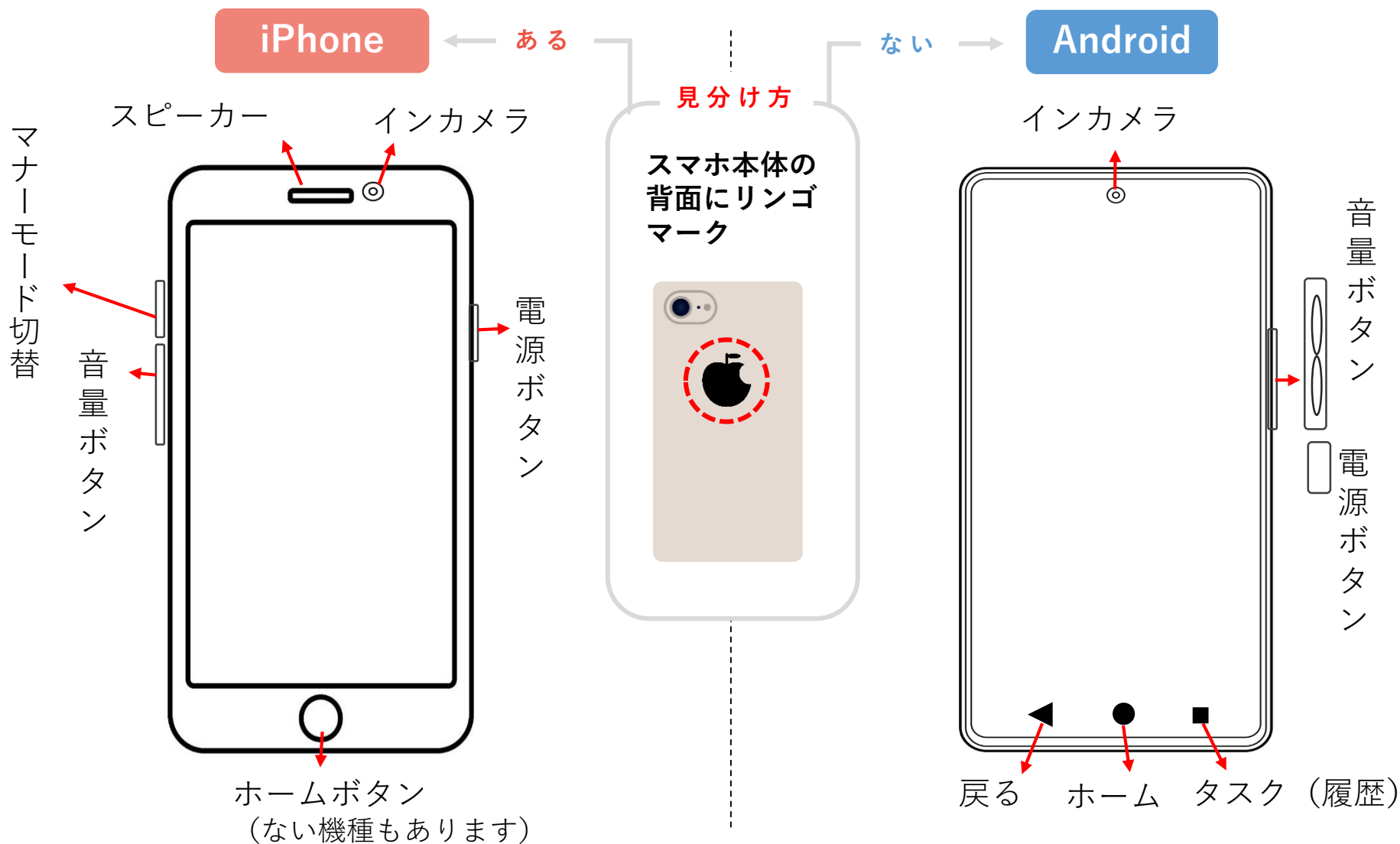
②スマホを持つときは、
持っている手が画面に
触れないよう注意！
（誤作動の原因になる）

■ スマホの種類 スマートフォンは**OSによって主に2タイプ**に分類されます。基本的な機能は同じですが、画面の表示や操作方法などが少し異なります。
(OSとは「オペレーティング・システム (Operating System)」の略で、スマホの基本動作やアプリを利用するための土台となるシステムのこと。)

iPhone (アイフォン)	分類	Android (アンドロイド)
iOS	OS	Android OS
Apple	OS開発会社	Google
iPhone	製品	Xperia、AQUOS、galaxy等
Apple	製品開発会社	SONY、SHARP、Samsung等
・機能がシンプルで分かりやすく、快適に操作ができる ・他のApple製品(Macなど)との互換性が高い ・安全性の高いアプリが提供されている ・スマホカバー等を種類豊富に選べる ・国内シェア率が高い ・アプリのセキュリティが高い	メリット	・デザインから性能までこだわってスマホを選べる ・外部ストレージ (microSD) を利用するなど購入後も独自のカスタマイズができる ・ホーム画面のレイアウトも自由に変更できる ・安価な端末がある
・iPhoneシリーズのみなので、種類が選べない ・カスタマイズの幅が限られる ・SDカードは入れれない ・端末価格が比較的高い	デメリット	・メーカーによってサポート体制や保証期間が異なる ・機能や操作がやや複雑で分かりにくいこともある ・端末によっては利用者が限定的なため、情報収集しにくい

ボタンの役割

※Androidの場合、電源や音量ボタンの位置は機種ごとに異なります。

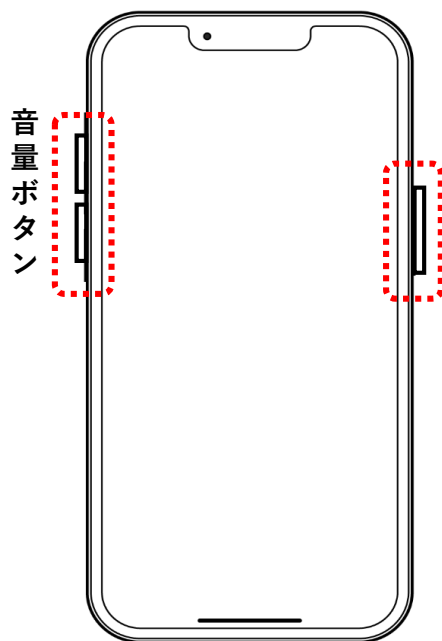


電源の切り方（iPhoneX以降）

iPhone

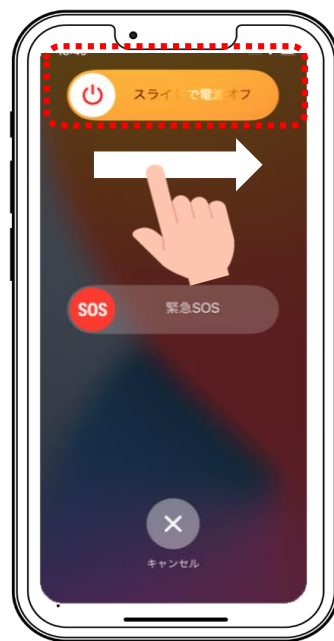
1

音量ボタンの上下どちらかと、電源ボタンを同時に3秒程度長押し



2

しばらくするとリンゴマークがでて起動を開始



日常の利用で電源を毎回切る必要はありません。

基本は利用し終わったら、スリープ状態にしておきましょう！

【スリープの方法】

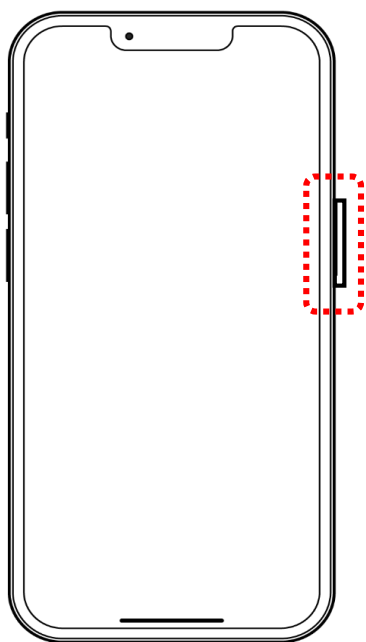
- 1) 電源ボタンを短く1回押します
- 2) 画面が暗くなればスリープ状態になっています

電源の入れ方（iPhoneX以降）

iPhone

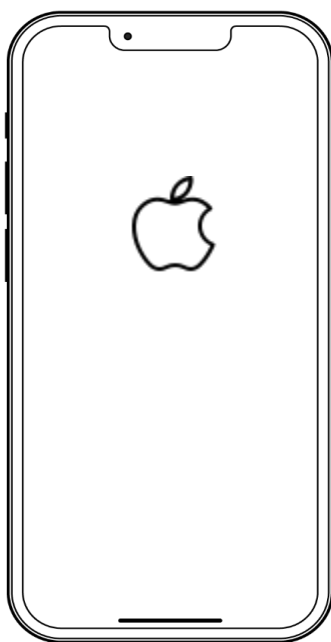
1

電源ボタンを
3秒程度長押し



2

しばらくするとリン
ゴマークが でて起動
を開始



3

パスワードを入力して
ロックを解除（ロックを
設定していない場合は必要
ありません）



4

起動完了



電源の切り方

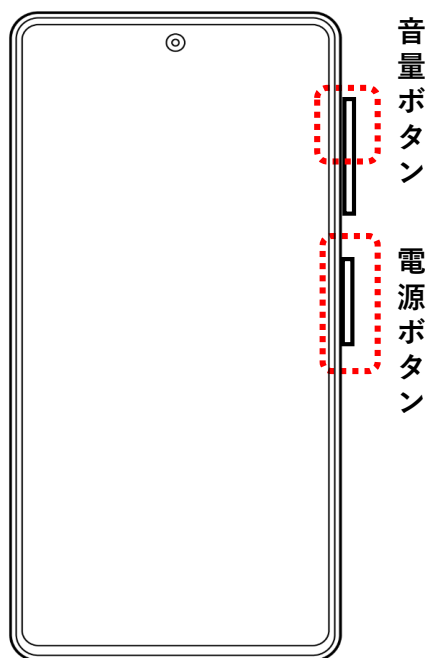
※電源ボタンの位置や画面は機種ごとに異なります

Android

1

電源ボタンと音量ボタン(上)を同時に押す

※機種によっては電源ボタンのみの場合もあります



2

「電源を切る」を押す
「シャットダウン中」の文字が表示されて電源オフ完了



日常の利用で電源を毎回切る必要はありません。

基本は利用し終わったら、スリープ状態にしておきましょう！

【スリープの方法】

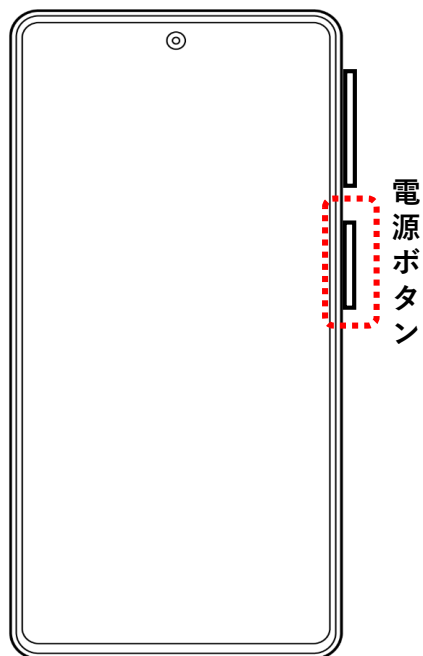
- 1) 電源ボタンを短く
1回押します
- 2) 画面が暗くなればスリープ状態になっています

電源の入れ方 ※電源ボタンの位置や画面は機種ごとに異なります

Android

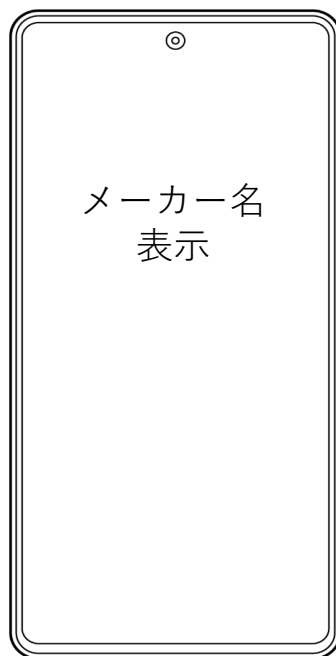
1

電源ボタンを
3秒程度長押し



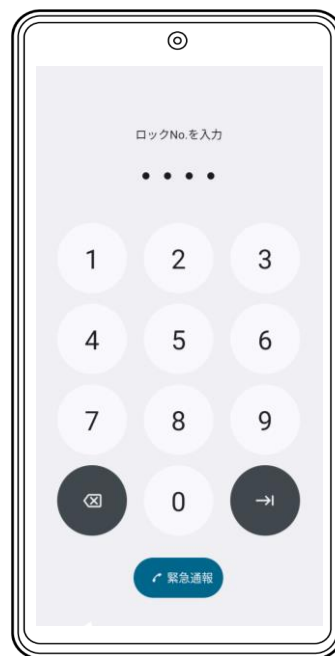
2

しばらくすると
起動を開始



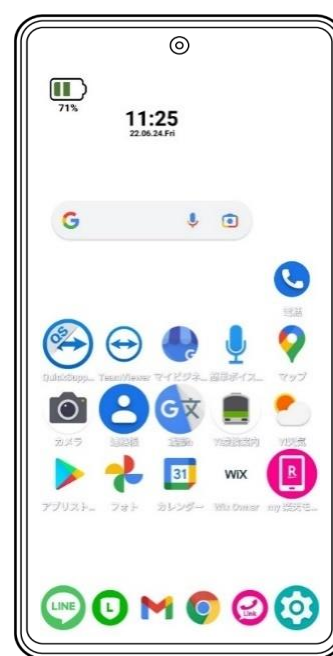
3

パスワードを入力して
ロックを解除 (ロックを
設定していない 場合は必要
ありません)



4

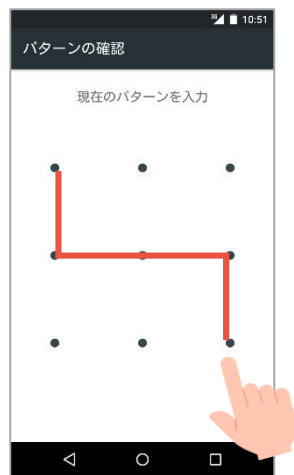
起動完了



画面ロックの種類

画面ロックとは、一度スマホの画面をオフにすると、第三者にスマホを操作されないよう自動的にカギがかかる機能のこと

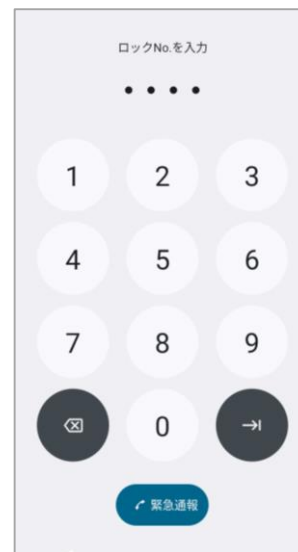
① パターン



② パスワード



③ PINコード（パスコード）



生体認証の活用



顔
認
証



指
紋
認
証

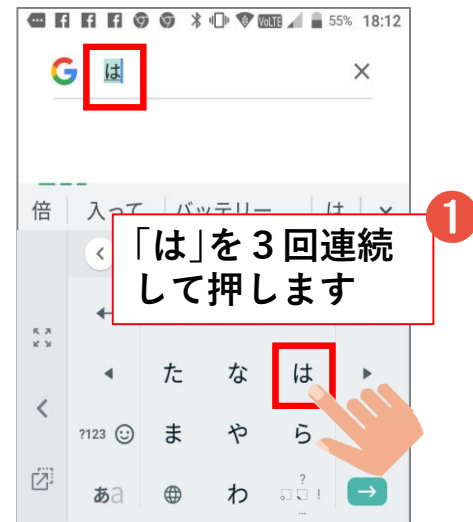
生体認証（バイオメトリクス認証）とは、体の特徴を使って、あなたがあなた自身であることを確認する方法です。

IDとパスワードの代わりに利用可能になる場合もあるため、うまく活用することで安全で楽に本人確認ができます。

文字入力の仕方

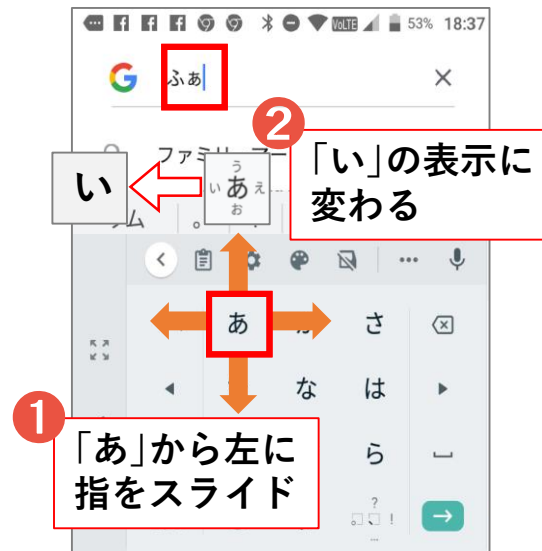
高齢者の方はケータイ入力に慣れてる方が多いですが、慣れればフリック入力のほうが入力ミスが少なく、早く打てるようになります。
小さなキーボードでの入力が難しい方にとっては音声入力も便利です。

A ケータイ入力 (トグル入力)



「は」⇒「ひ」⇒「ふ」と変化

B スマートフォン入力 (フリック入力)



「い」の文字が入力

C 音声入力

マイクボタン「」を押す



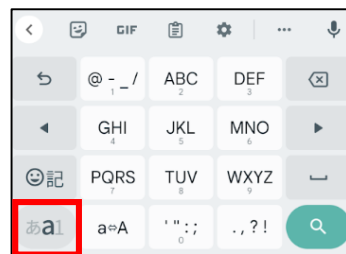
文字が自動で入ります

キーボードの切り替え方

「あa1」ボタンで①②③と変わります。

「」ボタンでパソコンのキーボード配列となります。
AndroidとiPhoneでキーボードは大きく変わりません。

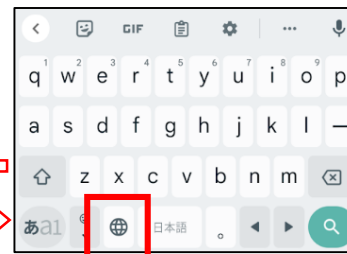
② 英語配列



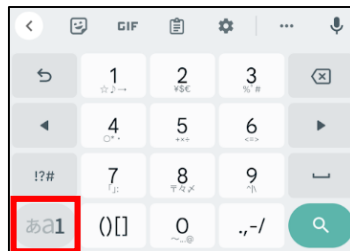
① 12キー配列



④ パソコン配列 (QWERTY)



③ 10キー配列



Androidは
キーボードの変更
Gboardが標準搭載



小文字の入力方法

⑤ 例：「や」と入力

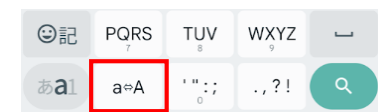
「や」と入力後に
下記赤枠内を押すと
「や」と小文字になります



英大文字の入力方法

⑥ 例：「K」と入力

「k」と入力後に
下記赤枠内を押すと
「K」と大文字になります



音声入力方法

最後に「。」や「！」を入力したい時は、そのまま読み上げると入力されます。

例「おはよう **まる**」→「おはよう。」／「先日はありがとう **びっくりマーク**」→「先日はありがとう！」

1

入力したい箇所をタップします



2

キーボード内のマイクマークをタップ



3

スマホに向かって入力したい内容を話します



4

入力できていればもう一度マイクマークを押してストップ



5

×マークで文字の削除



※本内容に登場する企業名・アプリ名・画面表示は、スマートフォンの操作方法をわかりやすく紹介するための教育目的による例示です。
特定の企業・サービスを推奨・宣伝するものではありません。
商標・ロゴは各社に帰属します。